

第8回定期総会

日時：2025年6月14日 15時～

場所：世田谷キャンパス 7024教室

(次第)

1. 会長挨拶
2. 議長・書記の選出
3. 第1号議案（報告事項） <書面表決及び出席者による決議>
 - 1) 2024年度事業報告
 - 2) 2024年度会計報告
 - 3) 2024年度監査報告
4. 第2号議案（決議事項） <書面表決及び出席者による決議>
 - 1) 2025年度事業計画（案）
 - 2) 2025年度収支予算（案）
5. 第3号議案（承認・決議事項） <書面表決及び出席者による決議>
 - 1) 組織ならびに役員（案）
6. 質疑・応答
7. その他の報告（今年度予算の執行、選手の表彰等）
8. 議事終了・書記の解任・議長の解任
9. 閉会挨拶

<総会での決定事項をホームページで報告する>

ご挨拶

国土館楓泳会
会長 中村 毅
(体育学部 1987 年入学)



拝啓

入梅の候、楓泳会会員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より、楓泳会運営に多大なるご支援ご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、国土館楓泳会も諸先輩方のお力添えにより創立8年目を迎えることができ、これも偏に諸先輩方の賜物と深く感謝しております。改めて厚く御礼申し上げます。

私たちが過ごした水泳部での時間は、努力と挑戦、そして仲間との絆に満ちた貴重なものでした。プールサイドでの厳しいトレーニング、試合での緊張感、仲間と喜びを分かち合った瞬間の数々は、今も私たちの心に深く刻まれていることと思います。この国土館楓泳会を通じて、私たちはもう一度その絆を確かめ合い、近況を語り合う機会を得ることができました。世代を超えてつながる水泳部の伝統は、皆様一人ひとりがその一部となり今なお続いていることを誇りに思います。

この度、2025年3月20日～23日に開催された第100回日本選手権水泳競技大会(競泳競技)兼世界選手権2025代表選手選考会にて、本学水泳部の森拓海君(政経学部3年)が200m 自由形、200m・400m個人メドレーに出場しました。世界選手権スタンダードAの派遣標準記録は突破しましたが、残念ながら、世界選手権2025日本代表に選拔されませんでした。しかしながら、ワールドユニバーシティゲームズの日本代表に選出されることとなりました。国土館楓泳会としても、この素晴らしい成果を誇りに思うとともに、森拓海君のさらなる活躍を願い、皆様からのご支援、ご声援をいただきましたら幸いです。

2025年度の運営方針として、楓泳会が長く活動を続けられるような基盤を確立するとともに、学生たちの活動支援および選手・スタッフの応援強化、卒業生同士の親睦及び現役学生とOBOGの交流を促進し、世代を超えた絆を深めることを目標に掲げ、さらなる発展を目指してまいります。

第1回の楓泳会設立総会以来、毎年定期総会のご案内を郵送にてお送りしておりましたが、時代の変化に伴い、インターネット・SNSの活用しペーパーレス化推進の見通しから、今後の楓泳会の活動もそれらを含めて検討してまいります。

また、2023年度の第6回定期総会より対面での総会を再開し、楓泳会の活動も前向きになってまいりました。引き続き、皆さまとともに、より充実した活動を展開できるよう尽力してまいります。

最後になりますが、今後とも楓泳会へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具

2025年6月14日

2024年度 事業報告

自:2024年 4月 1日

至:2025年 3月 31日

事業名	事業内容	実施日	実施状況
<水泳部後援事業>			
合宿の支援	選手・スタッフの応援、支援	4月～3月	GW合宿、夏合宿、冬合宿等
スカウトの協力	情報の共有、選手・コーチの紹介	4月～3月	佐賀インターハイ他
トップ選手へのサポート	優秀選手賞表彰、大会・合宿の支援	4月～3月	パリ2024パラリンピック出場
関東学生選手権の支援	選手・スタッフの応援、支援等	8月1～4日	東京アクアティクセンター
日本学生選手権の支援	選手・スタッフの応援、支援等	9月5～8日	東京アクアティクセンター
<後援会会議他>			
後援会・総会事務、準備会議	事業計画案、予算案の作成、名簿の管理、会費の管理、会員連絡等	4月～3月	世田谷キャンパス9回実施
会報の発行	会報第5号の作成・発行	6月	ホームページで実施
定期総会の開催	2023度事業報告・収支報告、2024年度事業計画案・予算案、規約、組織等について	6月16日	実施
国民スポーツ大会(佐賀) 国土館楓泳会(国土館大学水泳部後援会)の開催	水泳部OB・OG及び後援会関係者の親睦を図る会の開催	9月13日	佐賀市・大衆酒場ニュームラハチ 参加者11名
第1回東京楓泳会(国土館大学水泳部後援会)の東京会場の開催	国土館大学水泳部の学生とOB・OGの絆を深めることを目的に、世代を超えた交流を図る会の開催	11月17日	国土館大学世田谷キャンパスメインプールセンチュールホール地下2階 参加者68名
役員会の開催	総会の内容等について	4月～3月	世田谷キャンパス9回実施
広報	HP管理、SNSの活用等	4月～3月	実施
マスターズチーム活動	マスターズ協会および水泳連盟団体登録、練習会、大会の参加	4月～3月	

国土館楓泳会

会長 中村 毅



2025年3月31日

2024年度 収支報告書

国士館楓泳会

自.2024年4月1日 至.2025年3月31日

<収入の部>

(単位:円)

科目	摘要	単価	数量	決済金額
前年度繰越金				689,189
会費	一般会員 年会費	5,000	40	200,000
	賛助会員 年会費	10,000	6	60,000
寄付金	一般会員 寄付金	5,000	10	50,000
	賛助会員 寄付金	10,000	15	150,000
雑収入	雑収入	利息		237

収入合計 ¥1,149,426
 当期収入合計 (¥460,237)

<支出の部>

(単位:円)

科目	摘要	決算金額
管理費		(197,720)
	総会費 総会飲み物代 他	2,171
	会議費 役員会、会議室使用料、交通費 他	76,460
	備品購入費 事務用品代 他	0
	消耗品費 消耗品代 他	5,339
	会報費 印刷・発行・封筒代 他	49,600
	通信費 郵送代 他	64,040
	慶弔/交際費 電報料 他	0
	雑費 収入印紙代、コピー代、手数料 他	110
事業費		(385,400)
	事務局事業費 国民体育大会・インターハイ旅費 他	83,400
	強化事業費 強化支援金・交通費・宿泊費等補助 他	99,720
	東京楓泳会事業 お菓子代	4,980
	トップ選手サポート パリ2024パラリンピック出場激励	40,000
	作成事業費 記念グッズ等作成費(2024年度横断幕・ポーチ)	157,300
	マスターズ事業費 団体登録料 他	0
予備費	予備費	0
次年度繰越金		(566,306)

支出合計 ¥1,149,426

(収入－支出) (¥0)
 (当期収支) -(¥122,883)

2024年度収支報告書に関し、指摘すべき事項は認められません。

国士館楓泳会 会計監査役

会計監査役

荒原 康友



会計監査役

草野 伸行



2025年6月14日

2025年度 事業計画(案)

自:2025年 4月 1日

至:2026年 3月 31日

事業名	事業内容	実施日	備考
<水泳部後援事業>			
合宿の支援	選手・スタッフの応援、支援	4月～3月	GW合宿、夏合宿、冬合宿等
スカウトの協力	情報の共有、選手・コーチの紹介	4月～3月	インターハイ等
トップ選手へのサポート	優秀選手賞表彰、大会・合宿の支援	4月～3月	随時
関東学生選手権の支援	選手・スタッフの応援、支援等	7月31～8月3日	東京アクアティクスセンター
日本学生選手権の支援	選手・スタッフの応援、支援等	9月4～7日	東京アクアティクスセンター
<後援会会議他>			
後援会・総会事務、準備会議	事業計画案、予算案の作成、名簿の管理、会費の管理、会員連絡等	4月～3月	必要に応じて開催
定期総会の開催	2024年度事業報告・収支報告、2025年度事業計画案・予算案、規約、組織等について	6月	国士舘大学世田谷キャンパス
会報の発行	会報第6号の作成・発行	6月	ホームページで実施予定
国民スポーツ大会(滋賀)国士舘楓泳会(国士舘大学水泳部後援会)の開催	水泳部OB・OG及び後援会関係者の親睦を図る会の開催	9月13日	滋賀県・インフロンニア草津アクアティクスセンター
第2回東京楓泳会(国士舘大学水泳部後援会)の東京会場の開催	国士舘大学水泳部の学生とOB・OGの絆を深めることを目的に、世代を超えた交流を図る会の開催	11月17日	国士舘大学世田谷キャンパスメインプールセンチュールホール地下2階
役員会の開催	総会の内容等について	4月～3月	必要に応じて開催
広報	HP管理、SNSの活用等	4月～3月	随時
マスターズチーム活動	マスターズ協会および水泳連盟団体登録、練習会、大会の参加	4月～3月	随時

国士舘楓泳会

会長 中村 毅



2025年4月1日

2025年度 収 支 予 算 (案)

国士舘楓泳会

自.2024年4月1日 至.2025年3月31日

<収入の部>

(単位:円)

科目		摘要			予算金額
前年度繰越金					566,306
会費	一般会員 年会費		5,000	70	350,000
	賛助会員 年会費		10,000	10	100,000
寄付金	一般会員 寄付金		5,000	20	100,000
	賛助会員 寄付金		10,000	10	100,000
雑収入					0

収入合計 ￥1,216,306
 当期収入合計 (￥650,000)

<支出の部>

(単位:円)

科目		摘要	予算金額
管理費			(310,000)
	総会費	総会飲み物代 他	10,000
	会議費	役員会交通費 他	100,000
	備品購入費	事務用品代 他	30,000
	消耗品費	消耗品代 他	30,000
	会報費	印刷・発行・封筒代 他	60,000
	通信費	郵送代 他	70,000
	慶弔/交際費	電報料 他	5,000
	雑費	収入印紙代, コピー代, 振込手数料 他	5,000
事業費			(610,000)
	事務局事業費	国民スポーツ大会・インターハイ旅費 他	100,000
	強化事業費	強化支援金・交通費・宿泊費等補助 他	150,000
	東京楓泳会事業		50,000
	トップ選手サポート	報奨金等	100,000
	作成事業費	記念グッズ等作成費	200,000
	マスターズ事業費	団体登録料 他	10,000
	予備費	予備費	(296,306)

支出合計 ￥1,216,306

(収入－支出) (￥0)

以上の通り提案いたします

2025年 4月 1日

国士舘楓泳会

会長 中村 毅



国士舘楓泳会組織ならびに役員（案）

2025年6月14日

(敬称略)

＜ 役 員 ＞

会 長 中村 毅
(1987年入学)

副会長	星野 納 (1983年入学)
	八尋 大 (1993年入学)

事務局	
事務局長	白井佐知子 (1989年入学)
副事務局長	吉岡大翼 (2002年入学)
会 計	大塚礼子 (1990年入学)
	田中宏樹 (2012年入学)
	高松和希 (2017年入学)
総 務	加藤良一 (1995年入学)
	伊藤雄基 (2007年入学)
	近藤崇智 (2009年入学)
	遠藤太陽 (2012年入学)
	糸川流星 (2017年入学)
広 報	佐藤佳子 (2012年入学)
	富樫航太郎 (2017年入学)
	扇畑壮伯 (2021年入学)

顧	問	秋山 茂 (1970年入学)	樋口卓延 (1973年入学)
		道浦健寿 (1973年入学)	榎本安司 (1980年入学)
		水野浩男 (1980年入学)	八嶋 英 (1980年入学)
		原田泰寛 (1982年入学)	宮本明信 (1982年入学)
		今西享一 (1983年入学)	長田正博 (1984年入学)

世話人

泉 敏郎
(1984年入学)

和田匡史
(1990入学)

草野伸行
會計監査
蛭原康友

国士舘大学水泳部	
部 長	和田匡史
監 督	
ヘッドコーチ	田垣貞俊
コーチ	田中宏樹
コーチ	日比崇達
アシスタント	扇畑壮伯
学 生	(主将) 託摩頼明
	(女子主将) 伊藤琴羽
	(副主将) 齋藤 凜
	(副主将) 縄井健世
	(マネージャー) 高橋 彩巴
	(学連担当) 脇山 俊
	(綱泳会担当) 出沼尚也
	(綱泳会担当) 伊賀上竜馬

各地区

北海道	東 北	関 東	北信越	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州
菅原洋人 (2012年入学)	相馬季明 (1985年入学)	角屋仁志 (1979年入学)	木下嘉美 (1981年入学)	山本裕也 (1993年入学)	廣田紀夫 (1990年入学)	徳本信治 (1971年入学)	後藤田健一 (1977年入学)	堤 聖一 (1983年入学)
	橋本恵一 (2006年入学)	佐々宗史 (1993年入学)	中原智吉 (1982年入学)	中島啓介 (1996年入学)	庄司 慎 (1996年入学)	藤田 睦 (1995年入学)	井上 健 (1990年入学)	中川博文 (1994年入学)

★新規・変更

国士舘楓泳会(国士舘大学水泳部後援会)規約

第1章 総則

第1条 本会の名称は、国士舘楓泳会(国士舘大学水泳部後援会)と称する。

第2条 本会は平成 30 年 4 月 1 日に設立する。

第3条 本会は、事務局を国士舘大学理工学部和田匡史研究室内に置くものとする。

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1

国士舘大学理工学部和田匡史研究室

第4条 本会は国士舘大学水泳部の発展向上を期するために後援し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第2章 組織及び会員

第1条 本会には、国士舘大学水泳部のうち、男子・女子を置くものとする。

第2条 会員は正会員(個人)及び賛助会員(団体)とする。

第3条 正会員は、国士舘大学水泳部に在籍したものおよび国士舘大学水泳部に縁故あるものにして、本会の主旨に賛同するものとする。

第4条 賛助会員は、国士舘大学水泳部に縁故あるものにして、本会の主旨に賛同し、役員の推薦又は承認を得たものとする。

第5条 入会及び退会は事務局に申し出ることとする。

第6条 本会の名誉を著しく損ない、秩序を乱し、本会の主旨に反したものは役員会を通して退会とする。

第3章 役員

第1条 本会に次の役員を置く。

- ① 会長 1 名は水泳部卒業生がその任務に当たり、総会に報告する。
- ② 副会長は若干名を会長が推薦し、総会の承認とする。
- ③ 顧問は若干名を会長が推薦し、総会の承認とする。
- ④ 会計は 2 名を会長が推薦し、総会の承認とする。
- ⑤ 会計監査は 2 名を役員会に於いて推挙により決定する。
- ⑥ 事務局は、上記役員及び若干名の局員を会長が推薦し、総会の承認とする。
- ⑦ 各地区役員を会長が推薦し、総会の承認とする。
- ⑧ 世話人を会長が推薦し、総会の承認とする。

第2条 各役員の任期は2年とする。ただし、就任時70歳までとし、留任再任を妨げない。

第3条 会長は役員会の定める所に従い、会務一切を総括し本会を代表する。会長は副会長、顧問、会計、会計監査、事務局、各地区役員、世話人をもって役員会を構成し、多数決により諸案件を議決する。

第4条 副会長は会長を補佐し、会長不在時にはその任務を代行する。

第5条 顧問は、必要に応じて本会運営に協力・助言する。

第6条 会計は振込まれた会費及び寄付金を、本規約に従って事務局経費・活動経費に分配し、その用途について会計報告を作成する。

第7条 会計監査は、会計報告が適正に行われているか監査する。

第8条 役員会は必要に応じて随時開催する。

第4章 総会

第1条 本会の総会は、最高議決機関とする。

第2条 総会は毎年1回開催する。

第3条 議長は総会参加者の中から互選により決する。

第4条 総会出席者の過半数をもって決議する。なお、同数の場合は議長の決するところによる。

第5条 本会の総会は、会務報告・計画等を協議する。

第6条 必要があるときは随時、臨時総会を開催することができる。

第7条 緊急を要する場合は、役員会に於いて決定処理し、後日総会に於いて報告事後承認を求めることとする。

第5章 事業

第1条 本会は第1章第4条の目的を遂行するため、役員会の承認を得て次の事業を行う。

- ① 国土舘大学水泳部選手を奨励後援するために必要な行事及び経済的援助を行う。
- ② 国土舘大学水泳部部長・監督・コーチングスタッフを奨励後援するために必要な行事及び経済的援助を行う。
- ③ 国土舘大学水泳部選手の壮行会や祝賀会等の開催を企画し、選手と会員及び会員相互の親睦を深める。
- ④ 国土舘大学水泳部強化及び普及に関する事業の一環として、優れた選手・コーチ(外国人を含む)の招聘を行う。
- ⑤ 会報の製作及び発送の業務を行う。
- ⑥ その他役員会が承認した目的に必要な事業を行う。

第6章 会計

第1条 経費は次に掲げるものを以て支弁する。

- ① 正会員会費及び寄付金は年間 5,000 円として、原則一口以上とする。
- ② 賛助会員会費及び寄付金は年間 10,000 円として、原則一口以上とする。
- ③ 寄付金の使途は、正会員及び賛助会員の意志を尊重する。
- ④ 年度毎に正会員会費及び賛助会員会費の合計額から事務局経費を差し引き、残額を活動経費として配分する。

第2条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終了し、年度毎に会計報告を行うものとする。

第7章 雑則

第1条 本会の規約の変更は総会にて行う。

附則

平成30年11月10日制定

令和 元年11月16日改定

令和 6年 6月16日改定

楓

東京楓泳会 事業報告書

開催日：2024年11月17日
作成日：2024年12月11日
作成者：国土舘楓泳会事務局

2024

令和6年度



事業概要

東京楓泳会

事業報告

イベントの様子

総括

アンケート結果
今後の開催に向けて

事業概要

東京楓泳会

目的

国士舘大学水泳部の学生とOBOGの絆を深めることを目的に、世代を超えた交流を図る。

対象

水泳部員、OBOGおよびそのご家族様、賛助会員

主催者

国士舘楓泳会（国士舘大学水泳部後援会）

協賛・協力

国士舘大学水泳部（会場設営協力）

フットマーク株式会社（Jaked水着試着）

開催日時・場所

2024年11月17日（日）14:00～17:00

国士舘大学世田谷キャンパスMCH地下2階プール

プログラム内容

14:00～14:15 開会挨拶

14:15～15:00 ウォーミングアップ

15:00～17:00 タイムトライアル&会社紹介

イベント告知方法

国士舘楓泳会会報、国士舘大学水泳部HP内、
国士舘楓泳会公式LINE（チラシ）



現役学生との交流

- ・直接応援の言葉を届ける
- ・現役学生への就職相談やリクルート活動も大歓迎！

OBOG皆様の繋がり場

- ・昔の仲間たちとの再会
- ・世代を超えたOBOGのコネクション作りに！

タイムトライアル

- ・好きな種目をチャレンジ
- ・マスターズ大会に向けた練習
- ※無理は禁物です。

開催日時 2024年11月17日（日）14:00～17:00（途中入退室可）

開催場所 国士舘大学世田谷キャンパスメイプルセンチュリーホール地下2階（東京都世田谷区若林4丁目32）
東急世田谷線 松陰神社前駅徒歩8分/小田急線 梅ヶ丘駅徒歩15分

参加費 **無料** お金は徴収しません！みんなで有意義な時間を過ごしましょう！

参加資格 国士舘大学水泳部OB・OGおよびご家族の皆様、2024年度賛助会員様も是非水着持参の上ご参加ください！ベビーも可（プール用おむつ必須）泳がない方は観客席を開放しておりますのでご利用ください。

タイムテーブル **お申込み**



最新作水着試着会の実施

フットマーク株式会社勤務の加藤良一さん（体育学部卒・水泳部OB）のご協力をいただき、Jaked最新作水着の試着会を実施しました。学生はもちろん、OBOGの皆様も試着され、タイムトライアルでは白熱した雰囲気にも包まれました。このたびのご協力に感謝いたします。



事業報告

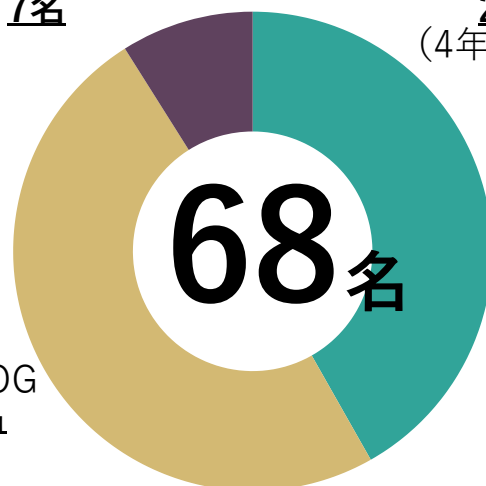
イベントの様子



その他ご家族等
7名

水泳部員
28名
(4年生含む)

OB・OG
33名



参加者

水泳部員28名、OB・OG33名、その他ご家族等7名の合計68名の皆様にご参加いただき、交流を楽しみました。お子様たちはプールで元気に遊び、一部のお子様はタイムトライアルにも参加して可愛い姿を見せてくれました。

OBOGによる会社紹介

タイムトライアルの合間に、OBOGの皆様が会社の紹介や仕事の魅力を学生に丁寧にお話しくださいました。学生からも多くの質問が寄せられ、次回の実施を期待する声上がるなど、有意義な交流の場となりました。

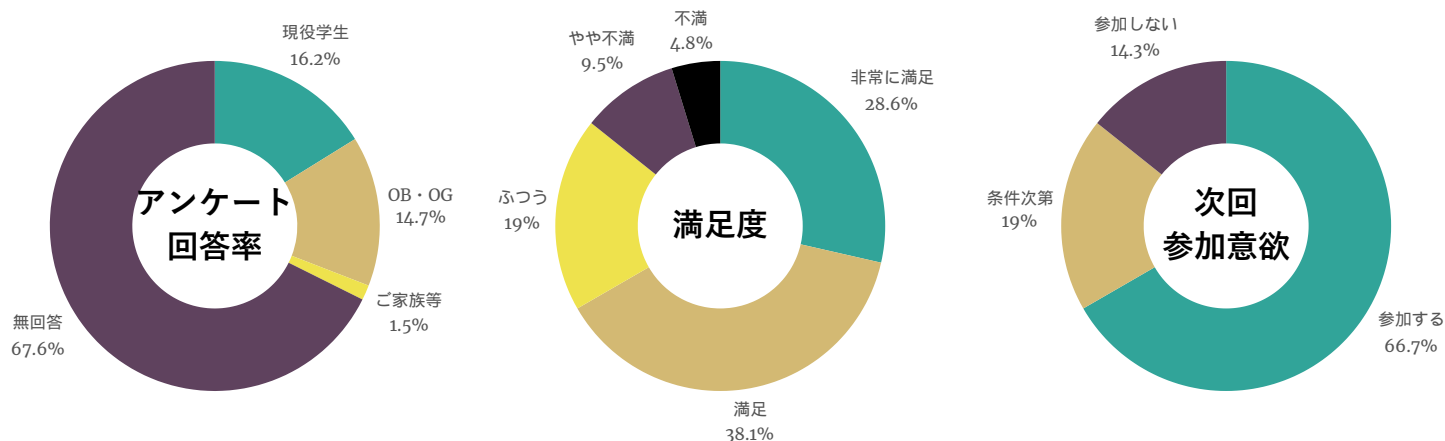
現役学生×OBOGチーム対抗リレー

タイムトライアルの最終種目では、現役学生チームとOBOGチームがそれぞれ4チームずつ参加し、4×25mリレーを実施しました。世代を超えた白熱した対決が繰り広げられ、目的である最高の交流が実現したのではないかと思います。

総括

アンケート結果および今後の開催に向けて

アンケート結果



参加者コメント

ありがとうございました。卒業生の会社紹介は身近に感じるものでありがたかったです。もう少し詳しく個別に話せる場面があるとよりよかったと思うので、次回ある場合はお願い致します。

現役学生

初めてたくさんのOBの方々に会うことができ、応援してくれている人たちがいる事を感じることができました。また開催する際は早めに日程やイベント内容を連絡してくれると嬉しいです。

現役学生

このような機会を設けていただきありがとうございました。今イベントをきっかけに久しぶりに同級生とも連絡を取り合い、会うこともできとても良かったです。ただ、折角会えたけどタイムトライアルに参加したり泳いでいる時間が多く、あまりゆっくり話す時間がなかったのももう少しゆっくりできる時間もあるといいなと感じました。様々な調整をいただいている中とは思いますが、一つの意見として参考になればと思います。ありがとうございました。

OB・OG

タッチ版が設置されていたり、新作水着の試着ができたりと、ここまで本格的なタイムトライアルが用意されたことに驚いた。ありがとうございました。

OB・OG

総括

東京楓泳会主催 兼 国士舘楓泳会副会長
八尋 大（体育学部卒）

国士舘楓泳会は、現役で頑張る国士舘大学水泳部の後輩たちを応援する後援会であると共に、OBOGたちの為のものでもある会として活動していきたいという思いから今回このような会を開催する事ができ、ご参加くださった皆様には心より感謝申し上げます。

現役選手とOBOG両方にとって有意義な会になるように、今後も引き続き開催を予定しておりますので是非仲間をお誘い合わせの上ご参加下さい。

